

元気企業  
訪問

小倉サンダイン  
株式会社

## 住宅メーカーと連携 樹脂サッシを用いて 新たな基準の 省エネ住宅の普及を



### 西日本から関東で新基準の 省エネ住宅を提案

現在、国内の多くの住宅でサッシにはアルミが使われていますが、小倉サンダインが扱う樹脂サッシは、アルミの代わりにPVCを用いています。PVCの熱伝導率はアルミの約1000分の1。「夏場の熱の71%は窓から入り、冬の暖房時には48%が窓から逃げてしまいます。窓を樹脂サッシにするだけでも効果的に断熱できるのです」と川崎厚志社長は力説します。

同社は創業以来主に化学品と建築用資材の販売を手掛けてきました。従来事業を融合させた新たな事業として着目したのが樹脂サッシでした。ところが、ビルダーへ提案しても、なかなか導入してはもらえません。そこで、国土交通省が定める「次世代省エネ基準」を満たす省エネ工法として外断熱工法とパッケージ化し、性能型式認定を取得。住宅の購入者が各種の優遇制度が受けられ、しかもビルダーが省エネ性能を高められる工法と資材を提供するビジネスモデル(OSD工法と命名)を思い付きました。

そのころ、ひょうご産業活性化センターが「新連携」の支援事業に取り組んでいることを知りました。「地域に密着した住宅メーカーと手を組んでOSD

工法の性能を高め、採用してもらうことで、その土地の気候風土に合った住宅が提案できる」と考え、神戸市に本社を置くヤマト住建株式会社に声を掛けました。同社にとっても、大手メーカー以上の高性能住宅を開発費用を掛けることなく自社で打ち出せることに大きなメリットを感じたようで、連携への賛同が得られました。

### 連携を生かした営業戦略で 販売実績を伸ばす

ヤマト住建では、小倉サンダインが開発した工法を採り入れた住宅を商品化し、2010(平成22)年、11(同23)年と2年連続で日本地域開発センターが実施する「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エレクトリック」の優秀賞、特別賞・地域賞を受賞。西日本では大手以外の受賞は初めてで、一気に業界やエンドユーザーでの評価も高まりました。一方、小倉サンダインは今春、「新連携」認定によって活用することができる補

助金を使ってモデルハウスで住宅性能を検証。断熱効果などを公的第三者機関として専門性の高い京都府立大学の研究室に依頼したところ、1.61というQ値(熱損失係数のことで、値が小さいほど断熱性が高い)が測定され、性能の高さを実証しました。ヤマト住建ではこの企画を「スーパーエネエージュ」として新たにブランド化し、今年度は既に4棟を受注したといいます。

OSD工法は施主、ビルダーを問わず誰でも使えるオープン工法で、1棟だけでも採用できます。課題は「いかに全国の地域ビルダーと組んで広がっていくか」と川崎社長は話します。

現在、大手の省エネ性能は次世代省エネ基準(Q値2.7以下)ぎりぎり。こ



モデルルームで打ち合わせをする川崎社長(右から2人目)とヤマト住建の西津昌廣社長(右端)

れは1999（平成11）年制定の基準で、既に旧基準並み。「新連携」で実証した性能で販路開拓を狙います。また、住宅断熱が健康改善に大きく寄与するというデータがあり、人に優しい

（安全で健康）ことも提唱しています。現在、国土交通省では、2020年を目途に現在の次世代省エネ基準のハードルを高めた上で義務付けを行う方針を固めており、追い風となりそうで

す。「この省エネ住宅は地球に優しく、人に優しく、さらに住宅そのものの長寿命化につながります。ユーザー視点で住宅業界に風穴を開けたい」と意気込んでいます。

会社概要  
小倉サンライン株式会社

所在地 神戸市中央区浪花町59  
代表取締役社長 川崎厚志  
事業内容 ゴム配合薬品・建築資材・省エネ住宅用資材の販売

TEL 078-332-2101  
FAX 078-332-2629  
URL <http://www.ogura-sundine.com/>